様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	グラムール美容専門学校
設置者名	学校法人グラムール学院

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	63 単位 (1890 時間)	7 単位 (160 時間)	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）**（）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第２条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している**					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://glamour.ac.jp/jouhou.index

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	グラムール美容専門学校
設置者名	学校法人グラムール学院

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://glamour.ac.jp/jouhou.index

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	公認会計士（2012.11.1～現在）	2022.1.21～2029 年度定時評議員会の終結の時まで（2025.5.30 更新）	財務関係の分析及び助言
非常勤	株式会社　代表取締役社長（2000.11.1～現在）	2020.4.1 ～2029 年度定時評議員会の終結の時まで（2025.5.30 更新）	学校運営方針の分析及び助言
（備考）			

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	グラムール美容専門学校
設置者名	学校法人グラムール学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・在学する 2 年間で、美容師国家試験の合格及びサロンへ就職してから必ず即戦力になれる高いレベルの技術習得を目的として、授業計画書を作成しております。 ・授業計画書においては、在学生全員を対象とする必須科目と即戦力となる高い技術を習得できる選択科目の構成としております。必須科目では、美容師国家試験対策・アップスタイル・美容総合技術・一般教養を学び、選択科目においては、プロフェッショナルな講師による 300 時間に及ぶ専門授業を受講することとしております。 ・2 年間で必須科目及び選択科目の履修を完了できるスケジュールの授業計画書としております。 ・授業計画書の作成は学生募集を開始する 4 月をめどに作成を行い、毎年 5 月ごろをめどにインターネットを利用し、ホームページにて公表を行っております。 ・学生からの質問や相談に対応できるように、学生専用サイトを開設しています。
授業計画書の公表方法　http://glamour.ac.jp/jouhou.index
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ・成績の評価方法としては、専科技術や国家資格試験課題など、様々な技術ごとに検定試験を実施し、技術力のチェックを行っております。 ・授業計画書に記載された評価方法・基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行っており、履修時間の認定を行っております。 ・具体的にはグラムール美容専門学校学則に記載しており、100 点満点評価として、実技試験については 70 点以上、学科試験については、中間試験・期末試験・進級試験は 70 点以上、卒業試験は 80 点以上としております。各科目の出席率は 80%以上としております。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ・学科試験及び実技試験ともに、点数化を行い、学内にて点数の公表を行っております。 ・実技試験については、実技の手順、構成、仕上がり等を点数化し、評価を行っております。 ・担当教員にて、成績の分布状況を把握し、試験に不合格の場合でも、個々に合わせた補習授業や再試験を実施し、全学生ができるようになるまで、丁寧な指導を行っております。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://glamour.ac.jp/jouhou.index
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ・卒業の認定方針はグラムール美容専門学校学則に記載しており、授業科目の卒業評価及び卒業試験等に基づき、卒業認定会議を経て、課程修了の認定を行うこととしております。 ・過程終了の認定に際しては、国が定める最低取得必修時間数である 2,010 時間の 80%が履修済みであることとしております。 ・卒業認定に必要な卒業試験は、学科試験、実技試験ともに 100 点満点評価で、 80 点以上を合格としております。 ・卒業認定を受けた学生については、校内にて公表を行っております。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://glamour.ac.jp/jouhou.index

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	グラムール美容専門学校
設置者名	学校法人グラムール学院

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://glamour.ac.jp/jouhou.index
収支計算書又は損益計算書	http://glamour.ac.jp/jouhou.index
財産目録	http://glamour.ac.jp/jouhou.index
事業報告書	http://glamour.ac.jp/jouhou.index
監事による監査報告（書）	http://glamour.ac.jp/jouhou.index

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生分野	衛生専門課程	美容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位（2,010時間）	17単位（510時間）		50単位（1,500時間）		

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
800人	592人	0人	32人	28人	60人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画書においては、在学生全員を対象とする必須科目と即戦力となる高い技術を習得できる選択科目の構成としております。必須科目では、美容師国家試験対策・アップスタイル・専門教育・一般教養を学び、選択科目においては、プロフェッショナルな講師による300時間に及ぶ授業を受講することとしております。
成績評価の基準・方法
（概要） ・成績の評価方法としては、専科技術や国家資格試験課題など、様々な技術ごとに検定試験を実施し、技術力のチェックを行っております。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・卒業の認定方針はグラムール美容専門学校学則に記載しており、授業科目の卒業評価及び卒業試験等に基づき、卒業認定会議を経て、課程修了の認定を行うこととしております。
学修支援等

（概要）
・毎日の教員会議で、学生の欠席状況や授業態度を共有し、状況を把握した上で本人と保護者に連絡を取り指導を行っています。また成績の分布状況を把握し、定期試験に不合格の場合でも、個々に合わせた補習授業や再試験を実施し、全学生ができるようになるまで丁寧な指導を行っております。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
247 人 （100%）	0 人 （　0.0%）	246 人 （　99.6%）	1 人 （　0.4%）

（主な就職、業界等）
美容業界

（就職指導内容）
就職担当者による相談、指導、学内・学外業界説明会の実施など

（主な学修成果（資格・検定等））
美容師国家資格など

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
561　人	47 人	8.4%

（中途退学の主な理由）
体調不良

（中退防止・中退者支援のための取組）
個別面談、三者面談など

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
衛生専門課程美容科	160,000 円	1,105,200 円	381,200 円	施設整備費、材料費、事務手数料
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ） 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://glamour.ac.jp/jouhou.index		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
卒業生、取引先企業等の学校関係者等で構成された評価委員会を年に１度に開催し、当校の教育活動・学校運営等について問う自己評価シートを基に評価を行っていただきます。評価の結果に対して、公表と適切な説明責任を果たすとともに、全体会議にて評価の結果を基に改善措置を行い、教育水準の保証・向上を図ってまいります。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
美容室　経営者	2021 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日 （2024 年 4 月 1 日更新） 任期更新	企業等委員
税理士	2022 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 任期更新(2025 年 4 月 1 日更新)	企業等委員
美容室　経営者	2022 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 任期更新(2025 年 4 月 1 日更新)	学校卒業者
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://glamour.ac.jp/jouhou.index		
（備考）		

第三者評価は実施しておらず、評価の基本方針および評価の委員については学校関係者評価の内容を記載している。

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
http://glamour.ac.jp/jouhou.index

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「ー」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310000237
学校名（○○大学 等）	グラムール美容専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人グラムール学院

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		212人（132）人	201人（122）人	221人（141）人
内訳	第Ⅰ区分	67人	63人	
	（うち多子世帯）	（ 21 人）	（ 17 人）	
	第Ⅱ区分	28人	26人	
	（うち多子世帯）	（ ― 人）	（ ― 人）	
	第Ⅲ区分	23人	20人	
	（うち多子世帯）	（ ― 人）	（ ― 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	36人	35人	
	区分外（多子世帯）	58人	57人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				221人（141）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	52人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	― 人	0人
計	人	54人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。